

りんごのきのした農園

2023 / 2024年 ご案内



3年間のコロナ時代を経て、今春から再開した様々なイベントに参加したり、旅行をしたり、改めて規制のない生活のありがたみを感じています。コロナウイルスに対する特效薬が普及するには時間がかかりそうで油断はできませんが、日々健康に暮らし、体力を消耗しないように気を付けています。

当園はりんご、人参、お米に加えて今年からビーツの栽培に本格的に取り組むようになりました。健康食品と言われるビーツは、様々な健康効果があるようで、積極的に日々の食事に取り入れています。



日本の農業はいま大きな転換点を迎えているように感じます。田んぼや畑を使わないか、と以前にも増してお声がかかるようになってきました。草刈りが大変な傾斜地の割合が大きい、水が湧き出ている畑地には向かないなど、何がしか不利な条件がある土地が多く見られます。過去に労力とお金を注いで開墾した田畑であっても、条件に合わない農地は森林に還す決断が地域に求められるのかもしれません。近年、農地への野立ての太陽光パネルの設置が急増していますが、概して景観を損ねるため、私は個人的に抵抗があります。少なくとも節操のない開発は規制される必要があるでしょう。

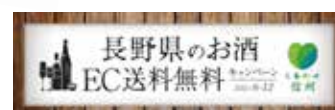
このような農業や農村を取り巻く変化に対応するために、国も重い腰を上げて「食料・農業・農村基本法」という重要な法律の改正を検討しています。この改正に対する議論は、ぜひ消費者であるみなさんの関心を引き込

み、巻き込んだプロセスを経てほしいと願っています。〈農業〉が〈食卓〉と離れ、食べ物は誰がどのようにして作っているのかが見えない状況が生まれてしまったのも、農業者や流通関連団体、行政組織などが「内輪で」大事なことを決めてきた要因が大きいと思います。農家経営が厳しい状況にあって後継者が見つからない構造にあるのも、やはり内輪だけで解決しようとする力学が、負の方向に影響しているように見えます。暗い話になってしまいそうですが、これをイノベーションのチャンスと捉え、打開策はきっとあるはずと私たちは捉えています。移動規制がほぼなくなった今、チャンスがあれば是非現場を見に来て頂けると嬉しいです。

今年も売上金の一部を認定 NPO 法人 ESA アジア教育支援の会へ寄付いたします。ESA の本格カレースパイスは当園の新商品「サリカ米」と共に当園オンラインショップからご購入いただけますのでエスニック料理好きな方はぜひお試しください。



最後に、送料無料キャンペーンのご紹介です。2023年12月31日まで「**長野県のお酒 EC 送料無料キャンペーン**」でシードル商品が**送料無料!**でご利用いただけます。オンラインショップに加え、メール、ファックス、お電話でのご注文も送料無料の特典が使えます。キャンペーン支援上限金額に達したところで、予告なく終了致しますので、お早目にご注文、ご相談頂ければと思います。



2023年 8月 りんごのきのした農園 木下 佳信